

議案第 1 号

令和 6 年度教育委員会の点検・評価に係る報告書の作成並びに議会への提出
及び公表について

令和 6 年度教育委員会の点検・評価に係る報告書を別紙のとおり作成したので、
これを市議会へ提出するとともに、公表することについて富津市教育委員会行政組
織規則（昭和46年富津市教育委員会規則第 5 号）第 5 条第 8 号の規定により議決を
求める。

令和 7 年 7 月 31 日 提出

富津市教育委員会

教育長 山下 秋一郎

提案理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定
により、令和 6 年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について
点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成したので、市議会への提出及
び公表することについて、富津市教育委員会行政組織規則第 5 条第 8 号の規定によ
り議決を求めるものである。

(案)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による

教育委員会の点検・評価

(令和6年度対象)

令和7年7月

富津市教育委員会

目 次

I はじめに

1	本市の点検・評価の概要	1
2	教育委員の活動状況	2

II 点検・評価

1	学校教育の充実	3
	（1）教育総務課の取組	6
	（2）学校教育課の取組	8
	（3）教育センターの取組	10
	外部評価者による評価	14
2	生涯学習の充実	16
	（1）生涯学習課の取組	17
	（2）公民館等の取組	22
	ア 中央公民館	22
	イ 富津公民館・埋立記念館	25
	ウ 市民会館・峰上地区公民館	28
	外部評価者による評価	31

I はじめに

1 本市の点検・評価の概要

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、毎年、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その報告書を議会に提出するとともに公表するよう定められています。

また、同条第2項では点検・評価にあたり、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、今般、令和6年度の点検・評価が終了しましたので報告します。

市民の皆様に、教育委員会が行っている日常の業務や課題を知っていただき、一層のご支援を賜りたいと考えています。

(2) 報告書の構成

令和6年2月に策定した『富津市教育施策（令和6年度～令和8年度）』をもとに、「学校教育の充実」と「生涯学習の充実」の2項目に分けて、それぞれ施策指標とそれに対する到達点を明示しながら、取組の実績と自己評価及び学識経験者2名の評価と意見を記載しました。

また、学識経験者の評価と意見は、分野ごとにまとめていただきました。

評価

A：事業の効果が現れている。

B：事業の効果が概ね現れている。（一部に問題がある。）

C：事業の効果があまり現れていない。（多くの問題がある。）

富津市教育委員会

令和7年3月31日現在

職 名	氏 名
教 育 長	岡 根 茂
教育長職務代理者	池 田 亨
委 員	藤 平 慶 子
委 員	嶋 野 和 正
委 員	今 關 真 弓

2 教育委員の活動状況

(1) 定例会議等・・・毎月開催、必要に応じて臨時に開催

- 4月25日 ・義務教育諸学校（市立小学校及び中学校）の教科用図書の取扱い方針を定めることについて 等
- 5月24日 ・令和6年度富津市一般会計予算6月補正予算（第2号）案について 等
- 6月20日 ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱又は任命について 等
- 7月25日 ・令和5年度教育委員会の点検・評価に係る報告書の作成並びに議会への提出及び公表について 等
- 8月19日 ・富津市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について 等
- 9月26日 ・富津市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について 等
- 10月24日 ・専決事項（後援申請）の報告について 等
- 11月21日 ・工事請負契約の締結について 等
- 12月26日 ・令和6年度富津市教育委員会教育功労者の表彰について 等
- 1月23日 ・佐貫小学校・大貫小学校再配置における学校名について 等
- 2月13日 ・富津市学校給食調理場の設置等に関する条例の一部を改正する条例案について 等
- 3月28日 ・令和7年度富津市学校教育の指針を定めることについて 等

(2) 教育委員会協議会・・・教育委員会の検討、協議の場

- 6月20日 ・教育委員会の点検・評価（令和5年度対象）について
- 10月24日 ・学校再配置に係る個別計画について

(3) 総合教育会議・・・市長、教育委員会により構成され、大綱の策定、教育を行うための諸条件の整備等、重点的に講ずべき施策等の協議・調整を行う。

- 7月25日 ・ICT教育の推進について
- ・長欠不登校児童生徒への対応について

(4) 教育長及び教育委員の研修等

- 6月28日 ・千葉県都市教育長協議会全体会、分科会並びに情報交換会
- 8月22日 ・君津支部教育研究集会全体会
- 12月 ・第1回教育長・教育委員研修会 オンライン開催
- 1月24日 ・第2回教育長・教育委員研修会

(5) 学校訪問

- 10月29日 吉野小学校
- 11月14日 飯野小学校

Ⅱ 点検・評価

1 学校教育の充実

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	現状値 (令和 5 年度)	目標値 (令和 8 年度)	到達点 (令和 6 年度)
きめ細やかな指導のために配置する指導員等の人数	外国語指導助手 (ALT) 3 人	3 人	3 人
	自立支援指導員 5 人	1 1 人	6 人
	教育支援センター相談員 4 人	5 人	5 人
	指導補助教員 1 2 人	1 2 人	1 2 人
	英語指導員 3 人	3 人	3 人
	特別支援教育指導員 6 人	7 人	6 人
	読書支援員 4 人	6 人	4 人
	I C T 支援員 3 人	3 人	2 人
学力の向上 保護者アンケートによる「児童生徒が確かな学力を身に付けるための取組」に対する保護者の肯定的な評価の割合	現状値 (令和 5 年度)	目標値 (令和 8 年度)	到達点 (令和 6 年度)
	8 6 . 2 %	9 2 . 0 %	8 5 . 2 %
読書活動の推進 読書が好きな児童生徒の割合	現状値 (令和 5 年度)	目標値 (令和 8 年度)	到達点 (令和 6 年度)
	7 7 . 7 %	8 0 . 0 %	7 8 . 7 %

富津市の環境や風土を 生かした学習の推進	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)	到達点 (令和6年度)
自分の地域を肯定的に 捉えられる児童生徒の 割合	88.3%	90.0%	90.9%
自分の地域の良さが回 答できる児童生徒の割 合	65.8%	75.0%	65.1%
児童生徒の健康増進	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)	到達点 (令和6年度)
肥満傾向の児童の割合	15.0%	11.0%以下	13.6%
肥満傾向の生徒の割合	12.9%	10.0%以下	13.6%
歯垢が付着している児 童生徒の割合	17.3%	15.0%以下	14.4%
学校を卒業した後も自 主的に運動やスポーツ に取り組むたいと考 える児童生徒の割合	82.2%	90.0%	87.7%

※現状値（令和5年度）は富津市教育施策または令和6年度教育委員会の点検・評価（令和5年度対象）に
おける到達点（令和5年度）のうち、直近の数値を使用している。

◎教育部全体での取組（教育かわら版の発行）

教育委員会が日頃行っている業務等について市民に周知し、理解いただくために教育かわら版を発行している。

今年度で通刊64号を迎え、各刊を区長回覧や窓口配布、併せて市ホームページに掲載した。

8月発行の62号は、運動会の報告や校外学習での市内巡り、読書の推進、新任教育委員の紹介等、11月発行の63号は、夏季休業中の小中学生自習室について、ふれあいスポーツフェスタ、電子図書館について等、2月発行の64号は、就学援助や育英資金制度について、新共同調理場の完成、部活動の方向性について等、多種多様な内容の紹介に努めている。



62号（令和6年8月発行）

63 号 (令和 6 年 11 月発行)



64号 (令和7年2月発行)

(1) 教育総務課の取組

1 主な事業と決算見込額

- ・ 学校教育振興費 (15,308,677円)

理科教育振興備品	1,956,900円
教材備品	3,077,576円
図書備品	3,393,643円
講師謝礼	90,000円 等
- ・ 育英資金貸付金事業 (2,320,000円)
- ・ 奨学金返還支援事業 (執行なし)
- ・ 大佐和中学校屋内運動場改築事業 (96,388,696円)

耐力度調査及び基本・実施設計業務委託	35,904,000円
(R5-R6 継続費 契約金額)	52,800,000円)
測量業務委託	24,817,100円
(R5-R6 継続費 契約金額)	32,230,000円)
屋内運動場改築工事	29,690,496円
(R6-R7 継続費 契約金額)	687,280,000円) 等
- ・ 青堀小学校校舎改築事業 (80,402,678円)

基本・実施設計業務委託	45,710,049円
(R6-R8 継続費 契約金額)	197,879,000円)
行政経営アドバイザー報償費	25,000円
小学校用地取得費	15,203,565円 等
- ・ 学校施設整備事業 (51,839,109円)

飯野小学校階段室外壁等改修工事	20,438,000円
防犯カメラ設置工事	7,813,509円
天羽中学校排水ポンプユニット槽設置工事	7,557,000円 等

2 令和6年度の取組の概要と効果(成果・課題等)

- ・ 学校教育振興費

予算の適正な執行管理に努め、国の補助制度も活用し、各学校の教材等の充実を図った。

ふるさと納税制度の仕組みを活用し、全国から休眠楽器の寄附を募集する楽器寄附ふるさと納税については、必要とする楽器について一定の充足を図る目的を達したため、費用対効果を鑑み、本年度をもって終了とした。
- ・ 育英資金貸付金事業

令和5年度の貸与上限額引上げ以降、利用者が増加している。

令和6年度は3件の新規申込があり、貸付を開始した。(令和6年度末現在 5名貸付中)
- ・ 奨学金返還支援事業

奨学金の返還支援に関する新規施策として、企業が従業員に対して奨学金の返還を支援した場合に、市が企業に補助金を交付する補助制度を施行したことから、企業への周知を図ったが、申請には至らなかった。
- ・ 大佐和中学校屋内運動場改築事業

用地測量等の設計に必要な業務を着実に遂行することで実施設計が完了し、工事請負契約後、工事に着手した。

・青堀小学校校舎改築事業

校舎等を効果的に配置し、良好な教育環境を整備するため、隣接地の一部を取得した。また、基本設計に着手し、行政経営アドバイザーの助言を得ながら必要な業務を着実に遂行することで基本設計が完了した。

改築基本構想・基本計画時点では、令和10年度の竣工を見込んだが、敷地の一部を造成するには開発許可手続きを要することが判明したため、令和11年度に竣工となる工程が示された。

・学校施設整備事業

外壁等の劣化により雨漏りしていた飯野小学校の管理特別教室棟階段室の外壁改修及び天羽中学校の雨水排水機能を改善するため排水ポンプユニット槽を設置した。また、防犯カメラ未設置の学校（小学校7校、中学校1校）に防犯カメラを設置し、防犯機能の向上を図った。

○今後の取組の方向性（改善策等）

・令和8年4月の学校再配置に向け、対象校の保有する備品の再利用等、有効活用を図り、不要品については適正に処分する。

・奨学金返還支援事業に関しては、周知を継続するとともに、アンケートによるニーズ調査や先進自治体の情報収集、企業を訪問しての説明や意見聴取などにより、利用の促進を図る。

・大佐和中学校屋内運動場改築事業は、令和7年度中の完成を目指して進捗管理を行う。

・青堀小学校校舎改築事業は、開発許可手続きや造成・外構設計を含む実施設計に着手し、計画的に遂行する。

・学校施設については、富津市教育施策に掲げる安全・安心な教育環境づくりに努めるとともに、「富津市小・中学校再配置計画」、「富津市学校施設整備基本計画」に基づき、施設の老朽化対策及び教育の資質向上を図るため計画的な整備を実施する。

教育委員会の自己評価 B

○評価の理由

各事業とも概ね計画通りに進めることができたが、奨学金返還支援事業では、周知期間としての取組を予定通り実施した一方で、申請には至っていないこと、教育振興における教材や備品関係の充足も不十分なこと、学校施設については、校舎等施設の老朽化対策に課題があることや、引き続き大佐和中学校屋内運動場の使用を中止し、大貫小学校及び大佐和中学校両校の学校運営、教育活動に制約が生じていることなどを総合的に勘案し、自己評価は、「B」とした。

(2) 学校教育課の取組	
1 主な事業と決算見込額 ・特別支援教育指導員配置事業（12,756,229円） ・学校給食管理運営事業（107,086,805円） ・給食材料費（160,739,439円） ・給食施設整備事業（2,083,225,003円） ・食育推進事業（1,406,746円） 食育推進事業費 10,230円 小・中学校保健管理費 1,396,516円 ・学校における歯科保健指導事業（22,210円） ・要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業（21,787,670円） ・特別支援教育児童生徒就学援助事業（3,606,322円）	
2 令和6年度の取組の概要と効果（成果・課題等） ・特別支援教育指導員配置事業 通常学級で過ごす特別な支援を必要とする児童生徒のために、6人の指導員を雇用し、延べ6校に派遣した。 ・学校給食管理運営事業 共同調理場2箇所（大貫、天羽）及び単独校調理場（青堀）の調理等業務並びに受配校への配送等業務を、民間会社に委託し継続して実施した。また、中学3年生及び第3子以降の学校給食費の無償化を実施した。 ・給食事業 年間194日の給食を実施し、児童生徒の心身の健全な発達と学校における食育の推進を図った。また、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、給食材料価格が高騰する中、保護者の負担を増加させることなく、質・量を維持した給食を提供できるよう給食材料費予算を増額した。 ・給食施設整備事業 令和5年9月から調理場建設に着手し、令和6年12月に建設工事が完了、令和7年4月の開場に向け、1月から開場準備を行った。 また、青堀小学校及び吉野小学校配膳室改修工事並びに大貫・天羽共同調理場及び青堀小学校調理場の解体に向け、設計業務を実施した。 ・食育推進事業 栄養教諭を食育指導員として、各小・中学校において食育指導（授業の実施・生活習慣病等の改善を要する児童生徒及びその保護者に対する個別相談等）を実施した。（食育指導員派遣回数 延べ103回） また、健康づくり課と連携し、令和2年度から中学2年生に実施しているHbA1c検査の結果が正常高値かつ肥満度20以上であった生徒のうち、保護者が希望した生徒を対象に、各中学校において、保健師・栄養士等による2型糖尿病発症予防指導を個別に実施した。（対象者24名中22名に実施）	

- ・学校における歯科保健指導事業

健康づくり課と連携し、歯科衛生士により小学1年生を中心に歯科保健指導（染め出し等）を実施した。（小学校7校、中学校2校）

- ・要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

準要保護児童生徒として264人（前年度比－22人）を認定し、学用品費・給食費・通学費・医療費等の援助を行った。

- ・特別支援教育児童生徒就学援助事業

特別支援学級在籍の児童生徒84人（前年度比＋9人）を認定し、学用品費・給食費等の援助を行った。

- ・学校再配置事業

学校再配置についての保護者や地域の方の理解を得るために、保護者、地域の方、それぞれを対象とした説明会を実施し、意見や質問などを集約、ホームページで公表した。

その後、学校再配置に向けた検討委員会（代表部会・PTA等部会・学校教職員部会）を組織し、協議を進めた。

また、再配置に関する進捗等をまとめた「再配置だより」を随時発行し、各部会で協議された内容等について公表している。

○今後の取組の方向性（改善策等）

- ・特別支援教育指導員配置事業

今後も各学校のニーズに応じた増員に向け、更なる充実を図る。

- ・学校給食管理運営事業

学校給食共同調理場の安定した運用のため、施設及び厨房機器等に必要な維持管理等を実施する。

また、学校給食費の徴収・管理業務については、滞納の防止と解消のため、休日・夜間の臨戸徴収を実施するとともに、学校と連携し、保護者面談後の納付相談、口座振替未登録者への登録の依頼についても継続して実施していく。

- ・給食事業

安全・安心な給食の安定した継続のため、給食従事者研修の充実、食材の安全確保に努める。

また、給食に使用する食材の地産地消を推進し、調理場での取組を公表する。

- ・給食施設整備事業

学校給食共同調理場の供用開始に伴い、旧大貫・天羽共同調理場及び青堀小学校旧調理場の解体工事を実施する。併せて、富津小学校及び飯野小学校旧調理場解体工事設計業務を実施する。

- ・食育推進事業

児童生徒及びその保護者が、生涯健康な生活を送ることができる環境を整えることを目的に、継続した指導が実施できるよう検討する。

- ・学校における歯科保健指導事業

感染症対策に留意し染め出しを行うなど、内容を工夫して、歯科衛生士と連携した指導を

実施する。 ・要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業 引き続き、経済的な理由によって就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学に必要な援助を実施し、経済的負担の軽減を図る。 ・学校再配置事業 令和8年4月の再配置に向け、各検討委員会を中心に準備を進める。
教育委員会の自己評価 B
○評価の理由 給食関連事業の進捗の状況については、各事業とも概ね計画通り進められている。 また、学校再配置事業についても、該当する学校の保護者や地域の方へを対象とした説明会を数回実施し、検討委員会を組織するなど、概ね計画通り進められている。 しかしながら、特別支援教育指導員配置事業については、目標値に対して不足していること、歯科保健指導事業については、実施している学校の割合は多いが、全校実施ができていないこと、食育推進事業では、肥満傾向の児童生徒の割合が目標値に対して達していないことなどから、総合的に勘案し、自己評価は、「B」とした。

(3) 教育センターの取組
1 主な事業と決算見込額 ・学力向上推進事業 (21, 279, 488円) ・教職員研修推進事業 (72, 268円) ・外国語指導助手配置事業 (13, 445, 520円) ・ICT教育推進事業 (54, 019, 258円) 等
2 令和6年度の取組の概要と効果(成果・課題等) ・学力向上推進事業 きめ細かな指導のために配置する指導員等については、約半数の職種において目標値以上の人数を配置できている。保護者アンケートによる「確かな学力を身につけるための取組」に対する肯定的な評価は、85.2%であり、昨年度(86.2%)とほぼ同水準であった。 市内全小中学校に、指導補助教員12名(小学校9名・中学校3名)を配置し、授業において個の課題に応じたきめ細かな指導ができる体制を整え学習支援等を行った。 また、全ての小学校で、主に低学年を中心とした希望者に放課後学習教室を実施し、児童の学習のつまずきや困り感の解消と学習意欲の向上を図った。 児童は、アンケートで「勉強をする場所として、放課後学習教室は役に立ちましたか」の問いに対して、95.2%が「とても役に立った・役に立った」と回答しており、次年度は放課後学習教室の全校実施5年目となるので、指導内容のより一層の充実を図る。 また、小中学生の学習習慣を確立するため、新一年生に「家庭学習の手引き」を配付した。 なお、学力向上推進委員会では、重点を置いている「読むこと・書くこと」について、目標値を定め、その達成に向けて各学校で、読書量を増やすための工夫や、自分の考えをしつ

かりと持って書かせるといった授業改善など、対策を講じて取り組んでいる。

令和6年度末の結果は、以下のとおりであった。

○「読むこと」について、『読書が好き、どちらかというと好き』と答えた児童生徒の割合 児童80%・生徒76%

○「1日16分以上読書をする児童の割合」27%

「全く読書をしない生徒の割合」59%

○『自分の考えを書きなさい』と発問されたときに自分の考えをまとめて書くことができる児童生徒の割合 児童87%・生徒86%

以上のことから、読書が好きな児童生徒を更に増やしていくために、一層の創意工夫と継続的な取組が必要である。

「富津市の環境や風土を生かした学習の推進」に関連し、各校の計画において地域学習が進んでいる。

また、生涯学習課や公民館と連携し、各校が地域学習を進める上での必要な情報が伝わりやすい環境整備に努めた。

「自分の地域を肯定的に捉えられる児童生徒の割合」は、90.9%であり、昨年度より2.6%の伸びがあった。

「自分の住んでいる地域や富津市の良さは何か」の問いについては、回答できた者は65.1%であり、昨年度（65.8%）とほぼ同水準であった。自分の住んでいる地域や富津市の良さを語ることができる児童生徒の育成を目指し、学習を深めていきたい。

・教職員研修推進事業

夏季教職員研修会は、国語（読むこと書くこと）、算数・数学、道徳、教育相談、不登校支援、情報教育、富津市を学ぶなど10講座を開設し、延べ275人の参加があった。

本研修会は希望制で、原則、全教職員が1講座以上の受講としている。若年層の教員が増えているため、指導力向上に向けて、授業づくりの基本的な内容や、本市の課題でもある不登校支援に関する内容など、受講者のニーズを意識したものとなるよう努めた。

・外国語指導助手配置事業

3名のALTを全小中学校が外国語の授業で活用できるよう配置した。

また、英語教育推進事業では、3名の英語指導員を小学校に配置し、外国語科・外国語活動において、ALTとともに担任の指導を補助し、授業の充実を図った。

（青堀小学校・大貫小学校は、専科教員が勤務しているため、指導員の配置はしていない。）

ALTミーティングに参加したほか、英語指導員会議を年間4回開催するなど、指導現場の課題を共有しながら随時改善を図った。

・ICT教育推進事業

1人1台の情報端末を有効活用した学習指導を充実させるため、情報主任会議を開催し、好事例の共有や情報提供に努めた。また、夏季教職員研修会において、本市導入ソフトウェアに関する実践研修を行った。

ICT支援員については、全小中学校に対し、月に5回程度訪問し、授業支援やICT環境整備支援を行った。

- ・富津市通学路安全対策協議会

児童生徒の登下校時における通学路の安全確保に向けた取組を関係機関(富津警察署、国・県道路関係者及び市関係部署、PTA代表等)が連携して推進し、各学校から報告のあった通学路の危険箇所の合同点検を行い、改善策等を協議し、対策を実施した。

- ・その他(生徒指導・教育相談体制等)

自立支援指導員を1名増員し、6名を小学校3校・中学校2校に、また、教育支援センター相談員を1名増員し、5名をさわやか教室(中央公民館)に配置した。

不登校児童が増加する中、本市で最も児童数の多い青堀小に校内教育支援センターを開設し、自立支援指導員2名を配置した。

不登校率は、小学校では令和5年度3.7%から令和6年度2.8%に、中学校では令和5年度7.5%から令和6年度8.9%に、全体では、令和5年度5.1%から令和6年度5.0%になった。

また、不登校、発達障害などに関する悩みについて、心療内科精神科の専門医による相談を実施し、15件の相談があった(前年度比+3件)

県配置のスクールカウンセラーは、全小中学校に配置され、相談件数は延べ1,976件(前年度比+319件)であり、教育センターへの電話及び来所による相談は14件(前年度比-3件)であった。

教育センターでの「いじめ相談メール」については、QRコード付きのカードを全児童生徒に配付し、友人関係や学校生活についての悩みがある場合の相談方法について周知した結果、2件の相談があった。

○今後の取組の方向性(改善策等)

- ・学力向上推進事業

「授業でカエル」をテーマに、市が抱える様々な課題に対して、教職員が主体的に、「授業改善」を通して取り組めるようにしていく。

「はまかぜ」や校長会、教頭会、教務主任会など様々な方法で情報発信し、児童生徒に「読むこと」「書くこと」の取組を継続させ、各校の好事例を共有できるようにしていく。

市内全小学校での放課後学習教室については、更なる内容の充実を目指す。

「富津市の環境や風土を生かした学習の推進」については、子ども達が富津市の魅力に気づくことができるよう、教職員が地域学習に取り組みやすい環境を整備するために、関係課と連携しながら情報発信に努める。

また、富津市の未来を自分事として関心を持てるよう、令和8年度に「子ども議会」を開催するための土台づくりを進める。

- ・教職員研修推進事業

若年層教員が増加しているため、ニーズに合った研修の充実に努め、教員としての指導力と専門性の向上を図る。

- ・ICT教育推進事業

引き続き、学力向上に対して有効なICTの活用を推進していく。

また、ネットモラル等のデジタル社会に適切に関わる力の育成を目指し、情報の提供を続

け、プログラミング教育については、市ICTアドバイザーと連携しながら、進めていく。

全体を通して、今後も教育センター職員がきめ細かな学校訪問等により、子ども達が安心して学校生活を送ることができるよう、教職員の指導力向上などの様々な側面から支援を行う。

教育委員会の自己評価 B

○評価の理由

富津市教育施策の目標と到達点から判断すると、関連する目標のうち到達点（令和6年度）が現状値（令和5年度）を下回った項目が5項目中2項目（保護者アンケートによる「確かな学力を身につけるための取組」に対する肯定的な評価・自分の地域の良さが回答できる児童生徒の割合）あるが、昨年度より1%以上の伸びが見られる項目も3項目（読書好きな児童生徒の割合・自分の地域を肯定的にとらえられる児童生徒の割合・学校を卒業した後も自主的に運動やスポーツに取り組みたいと考える児童生徒の割合）あり、取組に対する一定の成果は表れていると考え、自己評価を「B」とした。

外部評価者による評価

外部評価者（Ⅰ）の評価 B

給食関係の事業におけるアレルギー対応可能な新共同調理場の建設、給食材料価格高騰の中での給食材料費予算の増額、中学３年生及び第３子以降の学校給食費無償化、HbA1c 検査の実施を始めとする食育指導の推進等、生きていく上で最も重要な食への配慮が十分に感じられました。今後とも、児童生徒の健康増進のための取組に期待しています。

教員数の不足する中、各種指導員の配置並びに増員に向けた取組は、各小中学校において大変心強いものとなっていることと思います。一方で、各学校の定数にも欠員が生じている現状を踏まえた、より効果的な指導員活用への尽力に期待します。

青堀小学校校舎、大佐和中学校屋内運動場改築等の事業が着々と進展していることに敬意を表します。しかし、各校の経年劣化による学校施設の老朽化は着実に進んでいます。今後の富津市の学校のあり方について中長期的な計画を明らかにしていくとともに、従来の再配置計画とは異なった視点による協議の必要性を感じます。

「読書活動」や「富津市の環境や風土を生かした学習」の推進は、生涯学習の視点からも大変有意義な取組であると感じます。『ふつつ検定』や『富津ふるさとカルタ』による地元愛向上、移動式・固定式図書施設の整備や充実といった、教育部全体での取組も感じられました。

なかなか表立った成果の見えづらい分野ではありますが、今後の更なる工夫と成果の向上に期待しています。

新たに策定された教育施策の初年度である令和6年度については、新しい目標に向けて継続して取り組む事業に加え、新規に取組を始めた事業もあるようです。

目的を達成し、終了した楽器版ふるさと納税については、必要とする楽器に一定の充足が図られたことについて喜ばしく思います。新しいものを準備することが望ましいことではありますが、予算等の関係から遅れがちとなることもある中、早期に充実させたいという考えから苦心の取組であったと思います。様々な手法を用い、できるだけ早い段階において課題解決されたこのような取組は、手間が多くかかったことと思いますが、素晴らしい取組であったと感じました。

奨学金の返還支援に関する新規施策についても引き続き周知していただけることを望みます。

学校施設については、いずれの施設も老朽化が進んでいますが、予算や体制面から思うように進めることが難しい中であって、着実に事業が進められているものと思います。

引き続き、児童生徒の皆さんが安心して学習できる環境整備をお願いします。

学校再配置事業については、関係者との協議を慎重に行って準備を進められていることと思いますが、新たな環境となる児童の皆さん、保護者の方々に安心してもらえるような取組をお願いします。

校内の安全確保の問題は中々難しい課題であると思われますが、各学校に防犯のためのカメラが設置されたことを契機に、より安全な体制が図られるよう取り組んでいただきたいと思います。

食育推進事業については、小・中学校における食育指導の回数が昨年度比較で大幅に増加しており、力を入れて取り組んでいると思われますが、児童生徒の健康増進の目標項目の到達点からすると、効果が出たとは言い難い状況です。以前の教育施策においては目標の達成に至らなかったことから、目標達成に向けた今後の取組に期待します。

教育センターが担当している教職員、児童生徒支援の取組は、どれも欠かすことのできない取組と考えておりますので、引き続き体制の充実をお願いします。

特に、通学時の安全対策（中学生の自転車通学の事故防止含め）と慎重な対応が求められる不登校の問題について努力をお願いします。

2 生涯学習の充実

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

指 標 名	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)	到達点 (令和6年度)
学び、生かす生涯学習 の推進			
公民館・市民会館利用 者数	51,571人	60,000人	64,440人
人材バンク「まちの先 生」の利用件数	44件	55件	35件
図書利用冊数 (人口1人あたり)	4.46冊	5冊	5.57冊
図書館来館者数	187,000人	190,000人	177,575人
家庭教育への支援と連 携・協働の推進	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)	到達点 (令和6年度)
放課後ルーム定員数	60人	65人	60人
青少年相談員連絡協議 会事業の参加者数	1,474人	2,000人	1,839人
文化財の保存・活用と 文化芸術活動の推進	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)	到達点 (令和6年度)
指定・登録文化財の件数	90件	90件	90件
文化財来訪者数(市案内分)	514人	600人	743人
市民文化祭参観者数	9,140人	10,000人	10,335人
スポーツ・レクリエー ションの振興	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)	到達点 (令和6年度)
スポーツ関連の行事参 加者数	5,114人	6,000人	5,899人

※現状値(令和5年度)は富津市教育施策または令和6年度教育委員会の点検・評価(令和5年度対象)における到達点(令和5年度)のうち、直近の数値を使用している。

(1) 生涯学習課の取組

1 主な事業と決算見込額

- ・家庭教育支援事業 (7,342円)
- ・生涯学習バス運営事業 (8,115,677円)
- ・図書館関係事業 (109,861,159円)
- ・ブックスタート事業 (141,240円)
- ・青少年相談員活動事業 (1,050,355円)
- ・青少年健全育成事業 (1,744,880円)
- ・文化財保護事業 (10,347,044円)
- ・市内遺跡発掘調査事業 (2,237,058円)
- ・民間開発発掘調査事業 (0円) ※事業なし
- ・富津市ふれあいスポーツフェスタ事業 (1,219,828円)
- ・社会体育振興事業 (3,976,421円)
- ・スポーツ少年団交流事業 (100,000円)
- ・市体育施設管理運営事業 (90,979,600円)

2 令和6年度の取組の概要と効果(成果・課題等)

- ・生涯学習推進事業等

市民の多様な学習を支援するため、人材バンク「まちの先生」による学習支援情報など生涯学習に関する機会や行事を掲載した「富津市生涯学習情報提供誌」を更新し、市役所・公民館等の窓口で希望者に配布したほか、市ホームページや「ちばりすネット(千葉県生涯学習情報提供システム)」に情報提供し、周知を図った。

- ・生涯学習バス運営事業

令和4年2月から2台体制の運行を開始し、市民の生涯学習活動が活発となったことも影響し、令和6年度は300回の運行・利用者7,132人と増加している。(前年度比+19回・+478人)。

- ・図書館関係事業

市立図書館の開館や電子図書館の開設など図書環境が充実したことにより、貸出冊数は217,270冊と増加が続いている。(前年度比+17,167冊)。

また、市立図書館については、開館当初に予定していた図書購入に加え、更なる環境整備のため寄附金を活用して蔵書整備を行い、開館時65,039冊だった蔵書数は、87,050冊まで拡充した。

人口一人当たりの貸出冊数は、開館前の令和3年度0.65冊から、令和6年度末では4.9冊に増加している。

- ・ブックスタート事業

4か月児健診時に絵本を1冊贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心がふれ合う時間を持つきっかけを提供した。令和6年度は107人の赤ちゃんに絵本を贈った。

- ・青少年相談員活動事業

富津市青少年相談員連絡協議会及び各地区の連絡協議会で事業を実施し、多くの児童と保

護者が参加し親睦を深めた。

前年度は荒天により中止となった地域のつどい君津地区大会は、君津亀山青少年自然の家で開催され、火起こしなどの自然体験やオリエンテーリングが実施された。

下洲海岸で開催された富津市あすをきずく青少年のつどい大会「チャレンジ・こども地引網」には、小学生43名・大人51名が参加した。

その他、各地区においてもドッチボール大会（富津地区）・ジャンボかるた大会（大佐和地区）・防災キャンプ（天羽地区）などの行事が開催された。

- ・青少年健全育成事業（子ども会活動事業）

木更津市立少年自然の家キャンプ場にて子ども会ジュニアリーダー初級研修会をはじめ、飯野コミュニティセンターにて育成大会、飯野小学校にてサマーデイキャンプなど様々な行事を実施し、子ども同士や地域の大人たちとの交流によって子どもの健全な育成に貢献した。

- ・文化財保護事業

史跡用地取得事業では、内裏塚古墳周溝内に所在する民有地4筆を買上げた。これにより、史跡内裏塚古墳の公有地化率は約79%となった。

文化財周知板設置事業では、白山の大スギ、像法寺の石像宝篋印塔、石像層塔の解説・案内板の老朽化に伴い、付け替えを実施した。

文化財・文化財施設環境整備事業では、古墳等の草刈・樹木伐採、飯野陣屋土塁北側の土塁樹木伐採等を実施した。

鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会事業では、令和3年7月に鋸山が日本遺産「候補地域」に認定されたことを受け、鋸南町との共同で設立した鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会によって各事業を実施した。

令和6年度は、「候補地域継続」という審査結果を受け、文化庁による日本遺産プロデューサー派遣制度を活用しながら、ストーリー・ビジョンの再構築に取り組んだほか、鋸山の魅力を来訪者へ伝えるため「有償ガイドの育成」、子どもたちの日本遺産への認知度を高め、地域への愛着を持ってもらえるよう、小中学校での「鋸山の教室」を開催、鋸山ストーリーの体験プログラムとして「浮世絵版画摺講座」を開催、ふつつんグルメフェスタでPRブースを出展するなど、計6事業を実施した。

高宕山サル被害防止事業では、老朽化した電気柵の改修、発信器の装着、事業対象である高宕山周辺に生息するニホンザル個体群を対象に行動域の調査、指定地域の環境改変と生息環境調査を実施した。

内裏塚古墳群など市内の史跡見学会や講演会などへの参加者は、743人（前年度比+229人）であった。

- ・市内遺跡発掘調査事業

個人住宅建設、小規模宅地造成に伴い、飯野陣屋三の丸跡、狐塚遺跡、北笹塚遺跡、富士見台遺跡の計4箇所の発掘調査を実施した。

- ・民間開発発掘調査事業

民間事業者による開発がなかったため、事業を実施しなかった。

- ・社会体育振興事業

市民が積極的にスポーツに親しみ、健康づくり・体力づくりができるよう、スポーツ推進委員やスポーツ協会等と連携し、各種スポーツ大会やスポーツ教室を実施した。

第30回健康ウォークラリー大会 83人(前年度比+43人)

富津市長杯争奪少年野球大会 117人(前年度比-9人)

富津市教育長杯争奪少年サッカー大会 110人(前年度比±0人)

第42回F T S少年剣道大会 334人(前年度比-8人)

第2回富津モルック大会 32人(2年ぶりの開催)

「県民の日」記念第41回グラウンド・ゴルフ大会 71人(前年度比+7人)

「県民の日」記念第41回バドミントン大会 154人(前年度比+84人)

君津地区スポーツ・レクリエーション祭富津公園歩け歩け大会 300人(前年度比-8人)

第1回F T Sボッチャ大会 30人(初開催)

第1回F T Sモルック大会 19人(初開催)

第30回F T Sグラウンド・ゴルフ大会 54人(前年度比-9人)

第43回F T S杯争奪少年野球大会 71人(前年度比+1人)

第12回ふれあいドッジビー大会 60人(前年度比+1人)

ニューススポーツチャレンジ 26人(前年度比-33人)

富津市教育長杯争奪少年野球新人大会 71人(前年度比-14人)

ふれあいスポーツフェスタ2024 1,253人(6年ぶりの開催)

君津地区スポーツ・レクリエーション祭(ボッチャ・モルック・グラウンドゴルフ) 36人(前年度比-17人)

第49回ママさんバレーボール大会(中止)

第41回市民ハイキング 84人(前年比+36人)

第54回元旦歩こう大会 283人(前年度比-43人)

第51回富津市元旦マラソン大会 125人(前年比-5人)

第54回新春バドミントン大会 145人(前年度比+66人)

第37回新春グラウンドゴルフ大会 74人(前年度比-11人)

スポーツ教室(毎週土曜日) 2,367人(前年度比-655人)

・市体育施設管理運営事業

公益財団法人富津市施設利用振興公社・ミズノ共同体を指定管理者として適正な運営に努め、市民サービスの向上を図った。

《令和6年度利用実績》

○総合社会体育館

メインアリーナ 750件・24,213人(前年度比-143件・-6,683人)

サブアリーナ 1,735件・11,839人(前年度比+52件・+506人)

トレーニングルーム 627件・756人(前年度比+178件・+205人)

会議室等 33件・258人(前年度比+12件・+14人)

○富津運動広場 77件・1,188人(前年度比+20件・+195人)

○新富運動広場 220件・13,474人(前年度比+22件・+2,584人)

○浅間山運動公園

テニス 883件・4,538人(前年度比+114件・+419人)

フットサル

11件・112人（前年度比－8件・－140人）

野球

98件・3,992人（前年度比＋1件・－41人）

・小中学校体育施設開放事業

59団体 6,261日 120,494人（延数）（前年度比－4団体・＋523日・＋9,598人）

・千葉県民マラソン大会（千葉日報社・富津市陸上競技協会主催、富津市共催）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から大会中止が続き、大会を取り巻く環境も大きく変化し、主催者である千葉日報社による運営が難しくなっていることを踏まえ、今後の開催について協議を重ねた結果、大会を終了することとなった。

○今後の取組の方向性（改善策等）

・生涯学習推進事業については、君津地域4市での推進大会への市民参加を促すとともに、生涯学習情報提供誌の発行や、「まちの先生」事業を継続して実施する。

・家庭教育指導員・支援員及び社会教育指導員による「放課後ルーム」や「学習サポート会」の活動を通じて、地域学校協働活動の推進を図り、空き教室を利用した地域住民の「活動の場所」や「居場所づくり」を目指す。

・図書館関係事業では、よりよい図書館サービスを提供するため、図書館協議会の意見等を吸い上げながら、市立図書館を基幹館として、公民館図書室、移動図書館、学校等と連携し、図書施設の利用促進を図る。

・文化財保護事業については、各種開発から埋蔵文化財を守り、引き続き保護と継承に努め、保存と活用を図る。

また、開発により保存できない場合には、発掘調査による記録保存の策を講じる。

史跡等公有地化整備事業では、内裏塚古墳の公有地化を進めるとともに、内裏塚古墳群保存活用計画の策定を進め、内裏塚古墳群全体としての国史跡化を図る。

・鋸山については、引き続き鋸南町と共同し、日本遺産「候補地域」活用推進協議会で地域活性化のための各種事業を実施し、令和8年度の日本遺産本認定を目指す。

その他、文化財関係事業として、市内の文化財周知板の整備を進め、新設や老朽化に伴う更新のほか、指定物件以外でも重要性の高いものについては、地域団体等の協力を得て説明板を設置し、市民や来訪者への周知に努めるとともに、市のホームページの充実を図るなど、広報活動に努める。

・社会体育振興事業では、スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、各種スポーツイベント等に、より多くの参加が得られるよう内容や周知方法等を検討する。

また、身近な地域で生涯にわたってスポーツに親しめるよう総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。

・小中学校体育施設開放事業では、各団体の利用を調整し、健康増進、スポーツの振興を図る。

教育委員会の自己評価 B

○評価の理由

生涯学習バス運営事業や図書館関係事業など、各事業で概ね順調な進捗は図られているが、生涯学習推進事業では、人材バンク「まちの先生」の登録者数が減少しており、利用件数の増加は難しい状況である。

文化財の保存・活用については、古墳の公有地化、草刈・樹木伐採などの環境整備に取り組むとともに、専門職員による案内などの広報活動を行った結果、来訪者数は前年度から200人以上増加し、目標値を大きく上回った。

スポーツ・レクリエーションの振興においては、各種行事の開催では開催時期等に左右され参加者数が増減しているが、小中学校体育施設の利用者数は増加している。また、市体育施設においては、総合社会体育館メインアリーナのLED照明改修工事を行い、利用者が快適に利用できる環境を整備できたことから、自己評価は、「B」とした。

(2) 公民館等の取組

ア 中央公民館

1 主な事業と決算見込額

- ・中央公民館管理運営費 (13,372,936円)
- ・中央公民館学級・講座関係費 (541,939円)
- ・ふつつ検定事業 (191,109円)
- ・市民文化祭事業 (799,660円)

2 令和6年度の取組の概要と効果(成果・課題等)

- ・中央公民館管理運営

施設整備として図書室照明器具交換修繕、第2会議室空調設備設置工事などを実施した。

- ・中央公民館学級・講座関係

市民に幅広く学ぶ機会を提供し、人づくりや地域づくりを推進することを目的として、全15の学級・講座(前年度比+1)を開講した。

新規の学級・講座として、「はじめてのNISA・iDeCo講座」、「子ども古代体験教室」、「パトワーク&みんなでパラスポーツ体験!」を実施し、学級・講座全体の開催回数は91回(前年度比-5回)、参加延人数1,179人(前年度比-81人)であった。

- ・ふつつ検定事業

富津市の歴史・文化・観光・自然などの魅力や施策などを学び、誇りと愛着の醸成を図ることを目的として、令和7年2月23日に中央公民館を会場に集合形式の検定を実施した。

受検者数 128名(初級37名、中級39名、上級52名)

※小学生(初級6名・中級1名) ※中学生(中級1名)

合格者数 120名(初級35名、中級35名、上級50名)

※小学生(初級4名・中級0名) ※中学生(中級0名)

- ・市民文化祭事業

生涯学習活動の成果を発表し、親睦と融和を図り豊かな文化の向上と創造の心を養うことを目的として、文化祭参加者により組織される「富津市民文化祭実行委員会」の企画運営により、10月25日(金)から10月27日(日)及び11月3日(日)の4日間、総合社会体育館・富津公民館(埋立記念館)・中央公民館・市民会館の4会場で開催した。

各会場で魅力ある行事を催し、出展出演者数は1,892人(前回比△186人)、来場者は開催期間中全会場合計で10,335人(前回比+1,195人)となった。

※施策目標と到達点「公民館・市民会館利用者数」(3館共通)

到達点の利用者数が目標値を上回ったことについては、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となったことで、各種団体の催しやサークル活動などが活発になっていることが要因と考えられる。

今後も、各種団体への施設貸出、サークルへの活動支援などにより誰もが利用しやすい公民館運営に取り組んでいく。

※施策目標と到達点「市民文化祭参観者数」

到達点の参観者数が目標値を上回ったことについては、実行委員を中心として各会場ごと

に魅力ある行事を開催し、全会場共通パンフレット等により分かりやすく内容を周知したことなどが要因と考えられる。

今後も、実行委員会を中心として魅力ある行事を開催し、その内容を分かりやすく周知することで多くの参観につなげたい。

○今後の取組の方向性（改善策等）

- ・中央公民館管理運営については、個別施設計画の推進に向け、計画的な施設改修及び施設利用者の環境整備に努める。
 - ・公民館学級・講座関係については、前年度に実施した参加者アンケートの結果や世相を反映し、事業内容を充実させると共に、次年度に向け来館者等にアンケートを実施し、地域の学習ニーズを把握する。
 - ・ふつつ検定事業については、回を重ねても一定の受験者を確保できるよう、問題の更新や新たな検定区分の検討を行い継続した事業展開を行うとともに、小中学校を対象に出張検定を実施する。
 - ・市民文化祭事業については、出展・出演やメインテーマのインターネットによる申込みなど多くの方が参加しやすい環境の整備を引き続き実施する。
- また、参観者に開催内容を分かりやすく周知するため、全会場共通パンフレットを作成し利便性の向上を図り、多くの市民等が相互に交流することで文化の普及・向上につなげる。

教育委員会の自己評価 B

○評価の理由

中央公民館は建築後54年を経過し、老朽化が進行している施設であり、各種保守点検業務による指摘箇所について保守補修を実施した。また、第2会議室へ個別空調機を設置し利用者の利便性向上を図った。

主催学級・講座については、アンケートにより把握した学習ニーズや社会的関心を題材とした内容を実施し、教養の向上や健康の増進などを図ったが、子どもを対象にする講座を除き、主たる参加者がシニア層中心の傾向となっており、参加者の年齢層拡大が課題である。

ふつつ検定事業については、アンケート結果からは「本検定の学習を通じて市のことが好きになった」人の割合が99%と目的達成に一定の効果があつた。しかしながら、受験者のほとんどが大人であり、子どもの受験者が僅少（小学生7名・中学生1名）であったため、今後は小中学生の受験者を増やす展開に工夫が求められる。

市民文化祭事業については、実行委員会を中心に各会場で魅力ある行事を開催し、多くの来場者（前回比+1,195人）につなげることができたが、出演出展者数は減少（前回比△186人）しており、各団体の高齢化が課題となっている。

以上のことから、事業全体を総合的に勘案し、自己評価は「B」とした。

No.	講座の名称	開催回数	参加延人数	講 座 の 主 旨 と 内 容
1	いきいき健康体操教室	9	129	運動の日常化をめざし、四肢を動かし、心身の健康増進を図る。
2	シルバー生きがい学級	8	142	高齢者問題や社会問題等の学習を通して、知識の向上と参加者同士の交流を図り、生きがいのある生活の手助けとする。
3	浴衣 de eco キルト	10	89	ecoをテーマにして、着なくなった浴衣を材料として再利用し、タペストリーやバッグを作る。
4	大人のわらべ歌講座	5	66	声を出す・からだを動かす・頭で考えるに、「笑う」も加わったわらべ歌による心身のリフレッシュ講座。童謡・唱歌・わらべ歌の違いなど、奥深い魅力にふれる。
5	はじめてみようフラダンス	9	100	フラダンスの基本のステップやハンドモーションを使って毎月ハワイミュージックや日本のポップスを楽しく踊る。フラは体幹を鍛えるのに最適な舞踊で、運動が苦手な方にも楽しいエクササイズを提供する。
6	わくわくクッキング教室	2	25	地産地消を生かした様々な料理の作り方などを学ぶ。今回は、「ジビエ料理」をテーマに実施。
7	紙バンド手芸クラブ	9	123	古紙から再生される環境に優しい紙バンドを使い、趣味のバックや小物など実用品からアートまで幅広く作品を楽しむ。
8	子ども鉄道教室	2	68	房総地域の鉄道や列車が動く仕組みを算数・理科の面から学ぶほか、鉄道の乗車体験など館外学習を実施。
9	レッツ・プログラミング！	4	25	初心者向けの「スクラッチ」という言語でプログラミングを自由に楽しく学ぶ。
10	子ども古代体験教室	2	47	古代人の気分になって、火おこしや本物の土器に触る体験のほか、市内の史跡を見学する。
11	外国人のための日本語教室	23	105	在日外国人の方々が日本で生活するうえでの言葉の壁を少しでも減らし、地域の人とコミュニケーションをとるための一助とする。
12	わくわくペーパーアート 子ども折り紙教室	4	177	和紙、折り紙の歴史を学びながら折る楽しさ、折ってから楽しめる折り紙づくりを行い、折り紙の世界を広げる。
13	シニアモバイル教室	2	41	スマートフォンによるインターネットの基本的な使い方やショッピング、SNSの利用方法などに関する内容を学習し、生活における利便性を高められるようにする。
14	はじめてのNISA・iDeCo講座	1	29	自身にあった資産形成を検討できるように、2024年から始まった新NISA制度などについて学ぶ。
15	パラトーク&みんなでパラスポーツ体験！	1	13	パラスポーツを通じて、障がいのある方とない方が交流しながら、お互いの理解を深めるイベントを開催。
	合 計	91	1,179	

イ 富津公民館・埋立記念館

1 主な事業と決算見込額

- ・富津公民館管理運営費（42,289,250円）
- ・富津公民館学級・講座関係費（325,979円）
- ・二十歳の集い事業（691,948円）
- ・富津埋立記念館管理運営費（3,824,627円）

2 令和6年度の取組の概要と効果（成果・課題等）

・富津公民館管理運営

施設整備として、多目的室、視聴覚室、会議室及び和室の空調設備設置工事や消防設備修繕工事などを実施した。

・富津公民館学級・講座関係

市民に幅広く学ぶ機会を提供し、人づくりや地域づくりを推進することを目的として、全11の学級・講座（前年度比－2）を開講した。

新規の学級・講座として「抹茶・茶道教室」、「俳句入門講座」を実施し、学級・講座全体の開催回数は71回（前年度比－5回）、参加延人員1,260人（前年度比－57人）であった。

・二十歳の集い事業

二十歳代表による実行委員会の企画運営により、富津公民館にて、令和7年1月12日（日）に二十歳の集いを開催した。

対象者367人（前年度比－7人）のうち出席者255人（前年度比－16人）で、出席率69.5%（前年度比－3%）であった。

記念行事として「ふつつ思い出ビンゴ！」を実施し、また、中学3年生時に二十歳の自分宛に書いた「二十歳への手紙」を後日郵送した。

・富津埋立記念館管理運営

来館者数は5,007人（前年度比＋2,056人）であった。

施設整備として、トイレ排水管修繕工事や誘導灯設備修繕工事などを実施した。

○今後の取組の方向性（改善策等）

・富津公民館管理運営については、個別施設計画の推進に向け、計画的な施設改修及び施設利用者への環境整備に努める。

・公民館学級・講座関係については、前年度に実施した参加者アンケート結果や世相を反映し、事業内容を充実させると共に次年度に向け来館者等にアンケートを実施し、地域の学習ニーズを把握する。

・二十歳の集いについては、二十歳代表による実行委員会が「自ら作る二十歳の集い」として式典の企画運営を担い実施することとし、今後も実行委員会による企画運営を継続する。

・富津埋立記念館については、入館者数の増加に努める。

教育委員会の自己評価 B

○評価の理由

富津公民館は建築後42年、埋立記念館は33年を経過し、老朽化が進行している施設であり、各種保守点検業務による指摘箇所について保守補修を実施した。また、多目的室、視聴覚室、会議室及び和室へ個別空調機を設置し利用者の利便性向上を図った。

主催学級・講座については、アンケートにより把握した学習ニーズや社会的関心を題材とした内容を実施し、教養の向上や健康の増進などを図ったが、子どもを対象にする講座を除き、主たる参加者がシニア層中心の傾向となっており、参加者の年齢層拡大が課題である。

二十歳の集い事業については、二十歳代表者による実行委員を中心に企画・運営を行い、厳粛かつ暖かみのある式典を大きな混乱もなく無事に終了することができたが、式典後の記念撮影では、高校以降の転入などによって出身中学校が無い方に対し、撮影アナウンスが聞こえづらく、分かりにくかったという声が寄せられるなど、次回以降の課題もある。

以上のことから、事業全体を総合的に勘案し、自己評価は「B」とした。

No.	講座の名称	開催回数	参加延人数	講座の主旨と内容
1	東京湾学講座	11	282	富津岬を中心に東京湾岸の歴史・文化・自然などを幅広く学ぶ講座で、史跡等の館外学習も実施する。
2	長寿楽しみクラブ	6	191	年齢を重ねても健康で充実した生活を送るために、幅広い知識や教養、健康増進法などについて学ぶ。
3	健康スクール	8	151	気軽にひとりでできる運動を実践するほか、老若男女問わず楽しめる「モルック」「ペタンク」「グラウンドゴルフ」などのスポーツを通じて、日常的に体を動かす楽しさと大切さを学ぶ。
4	わらべうた遊びと共育ち合い教室	6	71	ミニ講座・わらべうた遊び・散歩などを通して親子の育ちを学びあう。
5	エコパッチワーク教室	8	120	エコ・リメイクの意識を高めるため、古着の布と新しい布を組み合わせ使用パッチワークを学ぶ。
6	古文書を読む会	5	88	地域に伝わる古文書を教材とし、古文書の種類や読み方、そこからわかる地域の歴史について学ぶ。
7	ペーパーアート折り紙教室	8	109	指先を使うことで脳の活性化を図るとともに、多様な紙を用いて季節の飾りや、ペーパーアートなどの作品を作る。
8	ポールウォーキング	5	79	足腰の弱い方でもポールを使った負担の少ないウォーキング方法を学び、肥満や運動不足からくる生活習慣病の予防、ストレスの解消を図る。
9	キッズSDGsスクール	1	22	普段の生活では機会の少ない体験学習を通じて、挑戦する心・自主性・創造性を育むとともにSDGsについて学ぶ。
10	抹茶・茶道教室	6	45	ご家族やご友人を招いて、ご自宅で手軽に抹茶を楽しむ方法から、初心者・初級者向けとなる茶道の簡単な作法までを楽しく学ぶ。
11	俳句入門講座	7	102	気持ちを表す方法として、日本語がたどりついた短い詩、それが俳句です。趣味として初心者でも気軽に楽しめる俳句の魅力について、季節とともに学ぶ。
	合 計	71	1,260	

ウ 市民会館・峰上地区公民館

1 主な事業と決算見込額

- ・市民会館管理運営費（31,710,943円）
- ・市民会館学級・講座関係費（391,988円）
- ・市民会館文化事業（1,000,000円）
- ・旧峰上地区公民館解体事業（55,550,000円）

2 令和6年度の取組の概要と効果（成果・課題等）

・市民会館管理運営

施設整備として、浄化槽修繕工事、外壁修繕工事などを実施した。

・市民会館学級・講座関係

市民に幅広く学ぶ機会を提供し、人づくりや地域づくりを推進することを目的として、全12の学級・講座（前年度比-2）を開講した。

新規の学級・講座として「大人の防災社会科学習会」「親子で行く社会科探検！」「わくわくクッキング教室」を実施し、学級・講座全体の開催回数は74回（前年度比+13回）、参加延人員1,209人（前年度比+345人）であった。

・市民会館文化事業

地域の特色を活かし、創意工夫を凝らした独創的・個性的な地域づくりを行うため、各種団体の代表による実行委員会を組織して事業の企画運営を行い、令和6年11月24日（日）に富津公民館で「大衆演劇祭り+1（プラスワン）」の公演を開催した。

当日の観覧者数は、542人となりアンケート結果からも公演内容に高い満足度を得ることができた（満足した人の割合約9割）。

・旧峰上地区公民館解体事業

旧峰上地区公民館解体工事及び旧峰上地区公民館解体工事監理業務委託を実施し、施設の解体工事が全て完了した。

○今後の取組の方向性（改善策等）

- ・市民会館管理運営については、個別施設計画の推進に向け、計画的な施設改修及び施設利用者への環境整備に努める。
- ・公民館学級・講座関係については、前年度に実施した参加者アンケート結果や世相を反映し、事業内容を充実させると共に、次年度に向け来館者等にアンケートを実施し、地域の学習ニーズを把握する。
- ・市民会館文化事業については、隔年開催であり令和8年度の開催に向けて実行委員会を中心に、地域における芸術文化の振興と意識高揚が図られるよう事業の企画調整を行う。

教育委員会の自己評価 B

○評価の理由

市民会館は建築後36年を経過し、老朽化が進行している施設であり、各種保守点検業務による指摘箇所について保守補修を実施した。

主催学級・講座については、アンケートにより把握した学習ニーズや社会的関心を題材とした内容を実施し、教養の向上や健康の増進などを図ったが、子どもを対象にする講座を除き、主たる参加者がシニア層中心の傾向となっており、参加者の年齢層拡大が課題である。

市民会館文化事業については、実行委員会による企画運営により、初のジャンルとして「大衆演劇」を実施し、観覧者アンケートからも高い満足度（約9割）を得ることができたものの、「大衆演劇」に関する歴史的変遷や文化的要素などを発信することができていなかったため、娯楽的印象が前面となった開催であった。

旧峰上地区公民館解体事業は、各契約事務等を適正に実施し、予定どおり令和6年度中に施設の解体工事が全て完了した。

以上のことから、事業全体を総合的に勘案し、自己評価は「B」とした。

No.	講座の名称	開催回数	参加延人数	講座の主旨と内容
1	歴史探訪講座	12	242	地域の歴史を文化・自然・人物・史跡などから再発見、学習する。
2	ポールウォーキング教室	6	90	足腰の弱い方でもポールを使い手軽にウォーキングやストレッチをしながら全身運動をする。
3	シニアのためのスマートフォン講座	3	43	スマートフォンを気軽に利用できるようにし、生活における利便性を拡大する。(シニア向け)
4	コーヒー講座	4	31	体に良いコーヒーの入れ方やお菓子に合うコーヒーの選び方、日常に使えるコーヒーについて楽しく学ぶ。
5	健康増進教室	6	97	健康で生き生きと生活できるすべを学ぶ。(健康な体づくり講座・ハイキング等)
6	和菓子教室	7	82	日本古来から伝わる和菓子作りを基礎から学習する。
7	ディスカバーふつつ	4	55	「ふつつ」の良さ、すごさを再発見するための体験講座。各回15キロ程度歩く。
8	シルバー生きがい学級	4	50	高齢化が進む中、レクリエーションや学習を通して、参加者同士がふれ合い語り合う場をつくることにより、仲間づくりを進める。
9	大人の防災社会科学習会	3	64	市防災専門職員の講義と防災施設の見学・体験学習を通して、災害時の身の守り方や避難方法、災害時に備える体制整備の必要性や具体的な支援の内容について学習する。
10	親子で行く社会科探検!	3	83	親子で自分達の住む身近にある市内外の歴史や技術を体験、学習し、ワクワク、ドキドキする探検をする。
11	わくわくクッキング教室	4	51	地産地消を生かした様々な料理の作り方などを学ぶ。今回は、旬の食材を使った「家庭でもできる“中華料理”」がテーマで実施。
12	こどもダンス教室	18	321	リズム感を養い、音楽にあわせて楽しく体を動かしながら、ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。
	合 計	74	1,209	

外部評価者による評価

外部評価者（Ⅰ）の評価 B

千葉県民マラソン大会の終了は、仕方のない事情のあることとはいえ、単なるスポーツイベントとしてだけでなく、広く県内外の人々に富津市を知ってもらう機会でもあっただけに残念ではありません。

古墳群や鋸山は、ともに富津市の貴重な財産であると考えます。今後も古墳の公有地化や整備事業、鋸山の日本遺産「候補地域」としての粘り強い活動に期待しています。また、佐貫城址、竹岡砲台跡等々、それ以外の史跡や歴史的遺物についても歴史好きな人達への観光資源となり得る可能性を秘めていると認識していますが、市民にすらその魅力が十分には伝わっていないように感じます。文化財周知板の整備にとどまらず、マップの作成、市内外への情報発信等、富津市の誇りを再発見することで、観光の魅力を高めることに繋げていってほしいと願っています。

市立図書館については、蔵書数、利用者数ともに大幅に伸びているとのことで、学校教育課の施策とも関連して富津市全体に読書への関心が深まってきているように感じます。蔵書検索、予約システムも大変便利に感じました。

公民館の各種講座では、公民館ごとの工夫が感じられます。参加者の高齢化については、個人的な感想ですが、誘い合える仲間がいないと参加しづらいように思います。地域コミュニティの在り方、ライフスタイルの変化が根底にあるようにも感じました。

生涯学習バス運営事業については、利用が増加しているとのことで、良い状況にあると思います。引き続き、利用者が安心して乗車できるような体制や車両整備を望みます。

図書館関係事業については、市立図書館開館以降も図書環境の充実が図られているようです。蔵書の充実などにより、利用しやすい施設等を目指した取組をお願いします。

文化財来訪者数については、大幅な増加が見られます。このような中、文化財関係事業として文化財周知板の整備を進められておりますが、古墳の案内板等で文字がかすれているものも見かけます。多くの看板類があり、順に整備を進められていると思われそうですが、来訪者にとって分かり易い案内表示となるよう、点検・改修をお願いします。

鋸山の日本遺産認定については、認定に至らなかったことは誠に残念ですが、候補地域継続ということから、引き続き各種事業が実施されています。今後も多様な事業を進め、令和8年度での日本遺産認定という実りが得られるように期待します。

社会体育振興事業については、開催が見送られてきたふれあいスポーツフェスタが再開されるほか、新たな大会も開催されるようになりましたが、参加者数については横ばいの状況であると思います。また、千葉県民マラソン大会が終了となったことは極めて残念ではありますが、市民の皆さんが積極的にスポーツに親しみ、健康づくり、体力づくりができるよう機会の創出や施設の整備、充実を図るようお願いします。

市民文化祭については、新たに定めた目標値を超える参観者数であったことは素晴らしいと感じますが、これに満足することなく更に多くの方々に参加、参観していただけるように取り組まれることを望んでおります。

公民館、市民会館で実施している学級・講座については、毎年、内容の見直しを加えながら事業を進められている中で、参加者の年代層に共通の課題を感じていることが示されていますが、高齢化が進む状況等の中では、シニア層の皆さんにより多く参加していただくような考えも持ったうえで、若年層の参加が増えるように考えていただきたいと思います。

新規事業として加わった「ふつつ検定事業」については、素晴らしい目標のもとに120名の方が合格をされたこと、大変素晴らしいことと感じております。今回は中学生を含む8名の方が残念ながら合格とはならなかったようですが、この方々を含め受験していただいた全ての皆さんに富津市の素晴らしさを各方面で伝えていただくことで、この事業の目的が果たされるものと思います。合格者が増えることに加えて、大変だとは思いますが、これらの意識の高い皆さんに継続的に良い情報が届けられるような仕組みづくりもお願いします。